

水辺のふるさと かつしか

夏号

2025.3
-2025.5

自然環境レポーター通信



写真のタイトル： モンシロチョウと菜の花
撮影場所：西亀有せせらぎ公園 写真提供：鈴木 園未

目次

1. 55種の動植物調査結果 P 2～5
2. 自由レポート P 6～23
3. 季節の写真集 P 24～29
4. 魚からの便り P 30～33
5. 環境課からのお知らせ P 34～36

担当編集の
ひとこと



こんにちは。環境課自然環境係の山田と申します。

この度、自然環境レポーター季刊誌の作成を担当することとなりました。新しいことばかりで、勉強の毎日を過ごしています。新しいことがはじまる季節のなか、レポーターの方々からいただいた写真やレポートを拝見し、とても暖かい気持ちになりました。空を見上げ、時には立ち止まってあたりを見渡すといろいろな自然に出会える気がします。これからさらにあつくなりますので、水分補給と休息を忘れず自然を感じていきたいと思います。

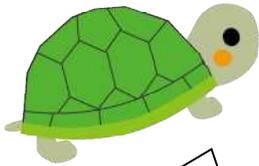
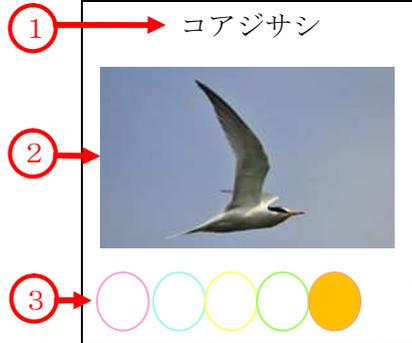
自然環境レポーターの皆様とともに、素敵な季刊誌を作成できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

環境課自然環境係 山田

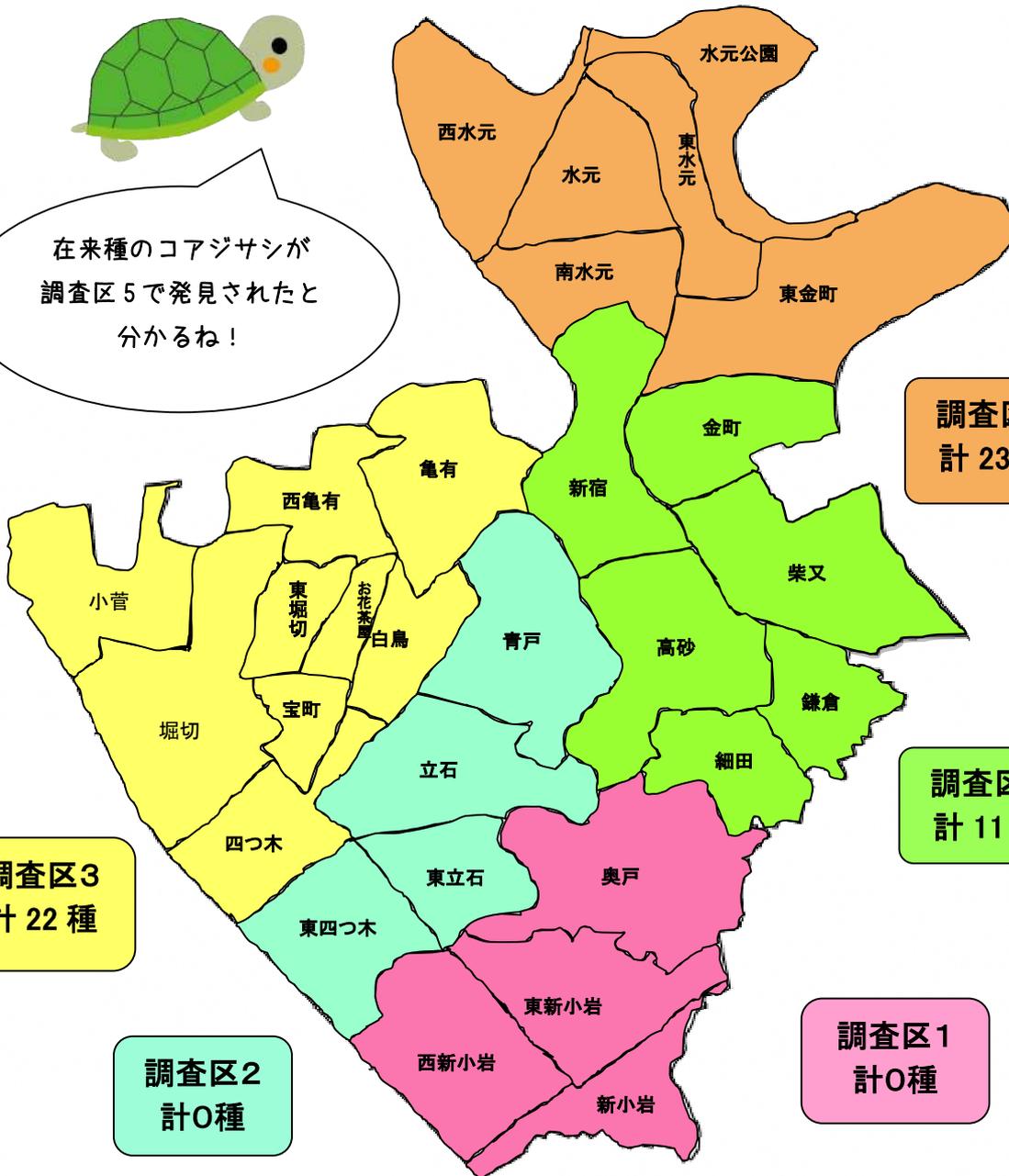
55種の動植物 調査結果 (3~5月)

【次ページの見方】

- ① 名前 (赤字は外来種)
- ② 写真
- ③ 発見された調査区
(調査区ごとの色で塗り潰し)



在来種のコアジサシが
調査区5で発見されたと
分かるね!



調査区5
計 23 種

調査区4
計 11 種

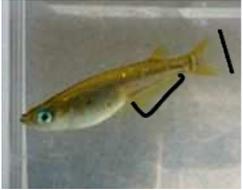
調査区3
計 22 種

調査区2
計 0 種

調査区1
計 0 種

<p>コアジサシ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>ウグイス</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>ギンヤンマ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>トノサマバッタ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>ツバメ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>コサギ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>アキアカネ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>クマゼミ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>オオヨシキリ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>カワセミ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>オオカマキリ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>アブラゼミ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>コガモ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>コゲラ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>エンマコオロギ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ツクツクボウシ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>ツグミ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>シジュウカラ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>カンタン</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ミンミンゼミ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>

<p>ニイニイゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>テングチョウ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ナガミヒナゲシ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>セリ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>
<p>ヤマトタマムシ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ツマグロヒョウモン</p>  <p>←雄 雌→</p> <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>シロツメクサ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>オオバコ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>
<p>ナガサキアゲハ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>アカボシゴマダラ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>スズメノエンドウ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>オオキンケイギク</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>
<p>クロアゲハ</p>  <p>←表 裏→</p> <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>アカメガシワ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>イモカタバミ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>カントウヨメナ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ナミアゲハ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>スギナ</p>  <p>ツクシ ↓</p> <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>アレチウリ</p>  <p>果実 ↓</p> <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>カントウタンポポ</p>  <p>反り返らない→</p> <p>○ ○ ● ● ●</p>

<p>ツユクサ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>ミシシippiaアカミミガメ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>コガネグモ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ジュズダマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ニホンカナヘビ</p>  <p>○ ○ ○ ● ○</p>	<p>ジョロウグモ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ススキ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>ニホンアマガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>メダカ</p>  <p>←カダヤシメダカの特徴に注意</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>アライグマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ニホンアカガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ブルーギル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ハクビシン</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>ウシガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>ベンケイガニ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>

春の訪れ

弥生さくら草

厳寒の中で春を待つ気分は、もう何十年も繰り返していても待ち遠しいものだ。今年は特にそう思われるのは異変や災害が多いからである。災害は忘れた頃にやって来るというけれど最近では涙の乾く間もない。被災地の方々の辛苦はいかばかりだろうか。悲慘な地震が復興途上というのに、天は無慈悲である。岩手県では大きな山火事があって恐怖を受難され気の毒で言葉がない。

気候も不順で寒暖を繰り返しながら春に近づいている。梅花が早春に先駆けて、菅原道真公が愛した凜とした姿で咲いている。

メジロが飛んできた。鶯よりも小柄であるが花の芯の蜜を求めているのだろう。それらを眺めていると温和な気分になる。

見渡せば雪柳、木瓜、椿が咲き始めた。暑い、寒いも彼岸までは至言である。

令和7年3月16日

本来ならば三月は寒さも少しずつ遠のいて、春にさきがけた花がほころびはじめる、浮き立つような頃である。それが突然の大地震、それに続く大津波、原発の事故と日本列島は史上例をみないほどの災害、試練に直面している。その上毎日のように余震がある。落ち着いて普段の暮らしが営めない。被災地の方々の辛苦は将来の希望が計れないもどかしさもあり、極限に達しておられるでしょう……。心から同情いたします。

厳しい環境にもかかわらず自然環境の世界は春の季節がゆっくり到来している。我が家で長年飼っているメダカが冬眠から覚めて活動を始めた。それを見て私は「ドジョウコだの、フナッコだの、夜が明けたと思うべな…」と懐かしい歌を口ずさむ。お気に入りの童謡である。

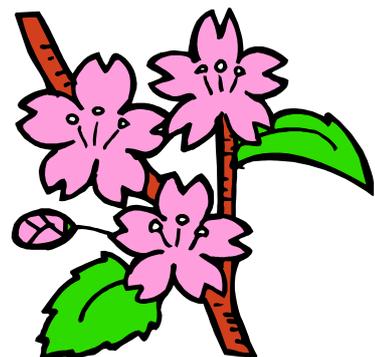
今年はいつまでも寒さが厳しかった。例年だと卒業式には桜が咲き乱れていたのに、この春は久しぶりに入学式を彩る。

我が娘たちの頃は連れ添う母親は殆ど和服で、それも黒紋付を纏っていたものだと懐古する。今ではもう、そんな光景は見る事がなくなった。

亀は万年というがそれを10年以上飼っている。先日冬眠の囲いを外した。亀は長い眠りから覚めて、のこのこ歩き廻っている。万年目はまだ十分あるから当分健在であろう――。

今、中川岸では昨年来から補強工事をしている。この度のような津波にこの辺りが襲われたらという危機感を想う昨今である。

令和7年3月16日



氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2025年3月23日

枯葉のふとん

以前、レポートでハイタカが落ち葉の中に胸のあたりまで入っている写真を提出した事があります。

水元公園の区のカワセミの里で働いている方に聞いたところ、ハイタカは水元公園でも見たことがないとおっしゃっていました。

真冬の寒い日、葛葉の枯草の中にお風呂につかって温まっているような感じで、くちばしで枯葉をひっくり返し枯葉の中で冬を越している虫を探しているようでした。

人間ならお風呂につかりながらお酒を飲んでいる感じでしょうか。

20センチぐらい枯葉がつもっていたので、その中で多くの虫も冬眠しているのだと思います。

隣接県ですが、やはり枯葉の積もったところで、枯葉ひっくり返したらミシシippアカミミガメが出てきたり、タヌキが1週間ぐらい居ついたりしていました（居つけるだけの餌があるのってスゴイと思います）。

人間も畑に腐葉土をまいたりしますが、他の生き物にとっては、暖かく寒さをしのげる場所でもあり、虫など様々な生き物が冬眠していて、貴重なタンパク源を摂取できる場所でもあるようです。

そんなこと当たり前だと言われるかとおもいますが、東京では珍しくかつ貴重な場所です。

そんな場所が増えて東京でももっとタヌキとかも普通に見れるようになればいいなと思いました。隣の県にはいるので。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2025年3月23日

シダレとサクラ

桜の季節なのでシダレザクラに関して最近思ったことを書こうかと思えます。正直、シダレのどこが良いのか長年分からなかったのですが、近頃ようやく理解しました。

シダレというと中国原産のシダレヤナギが思い浮かぶのですが、水辺に生える木で、現代の町が欧米風の雰囲気を出すように、昔、中国風の雰囲気を出すために植えたみたいです。

水元公園を散歩していると、水辺に生える木は皆そろって水に反射する光を求め、光源の水面に向かって枝を伸ばしているのを見て、「ああ、シダレって水辺の豊かさを表す枝ぶりなのか！」とやっと分かりました。

在来種の木が水辺で水面に向かって枝を伸ばしている美しさなら理解できたのと、魚を釣る人なら知っていると思うのですが、あの枝の日陰の下には魚がいるだろうという豊かさも連想させます。

水元公園に行ったら、サクラ以外の水辺の木のシダレも楽しんでいただけたいと思います。

シブメの美しさの方が後からジワジワと来てクセになるんですよ。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2025年3月23日

前、大漁だったらしい

コロナの頃、皆ステイホームしていても東京湾で漁獲量が増えているって話は入って来なかったですね。

何故こんな話するかというと、ずっと前、アマゾンがまだ本屋だった頃買った本で読んだんですが、昔、戦争があると東京湾江戸前の漁獲量が毎回上がってたらしいんです。

大型船の往来が規制され、工場からの排水も少なく水が澄んだからじゃないかと書いてあったんですが。

当時と違う点は、工場の排水は以前のような汚さではないはずとか様々だと思うんですが、個人的に思うのは当時は今ほどコンクリートだらけでもなく、埋立地も今より大分少なく浅瀬があったこと、一番個人的にこれじゃないかと思うのは、緑の量がかなり違うからじゃないかと（思っただけ）。

品川かどこかで湧き水が川に噴出してボラが大量に上ってきた事もありました。

東北などでは、魚つき林といって、森林保護・植林などすると実際漁獲が上がるらしいです。

本に「江戸前の海は都道府県別の漁獲量で日本一の座を長く保持した誇るべき歴史をもっていたことを、データ解説にもう一度添えておこう。」とあります。

魚がいっぱいいたから人が寄ってきた。しかしもういない。

東京の土地の値段は魚がいっぱいいたとしての価格だと思うんですよ。

ポテンシャルだけは秘めてますね。やる気の問題だけかもしれません。

出典「江戸前の素顔」2004年2月20日 株式会社つり人社 著者 藤井 克彦

葛飾区自然環境レポーター 自由レポート（2025年3月～5月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に 5-24、5-26、4-23	町名：東金町
-----------	-----------------------	--------

3月17日（月）東金町6丁目 江戸川堤防上

この春、初めてヒバリの囀りを確認。上空高くでヒバリの囀りを聞くと、いよいよ春到来ということを実感させてくれる。これから7月上旬くらいまでの間、江戸川堤防上空ではヒバリの囀りを楽しむことができる。

3月21日（金）東金町6丁目

自宅付近をルリタテハが舞っていた。

5月11日（日）水元公園

毎年5月の連休頃になると水元公園内でオオヨシキリの囀りが聞こえ始めるので楽しみにして現地に出かけたが、園内すべてを回ったがまったく囀りが聞こえず。これまで約30年近く自然環境レポーターを行ってきたが、こんなことは初めての経験。とても心配になった。

5月25日（日）東金町8丁目地先江戸川河川敷および堤防→水元公園へ移動

東金町8丁目江戸川河川敷はこれまで国土交通省関連の工事が出たと思われる残土などが放置されていたが、その場所に少しずつ植物が根付き、今では背の高いヨシに覆われつつある（写真①）。ここは生き物の楽園となっているようで、野鳥はキジ（写真②）・オオヨシキリの鳴き声が聞こえとても賑やかだ。さらにはツバメやヒバリ（写真③）が上空を飛び、何とも心癒される貴重な場所だ。



写真① 東金町8丁目河川敷（対岸は松戸市）



写真②堤防の草むらから姿を現したキジ



写真③ 東金町8丁目堤防の手すりにとまるヒバリ

そこから足を延ばし水元公園内の不動池へ。カワセミがいたが、三脚にバズーカ砲のような望遠レンズを載せたカメラがずらりと並んでおり、そのカメラの間から野鳥観察がしにくいほどの盛況ぶり（写真④）。カワセミも芸能人や政治家並みの注目度といったところだろうか。でも一般の方が観察できるように配慮してほしいものだ。



写真④ 不動池の観察ゾーンを囲むカメラマン

さらに足を延ばし、水元公園内のヨシの茂る水辺ゾーンへ。今回もまったくオオヨシキリの囀りは聞こえず。このまま囀りが聞こえないとなると一体何が原因？いよいよ心配になった。（後日談：6月1日に水元公園内でオオヨシキリを確認することができました）

大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5-28
-------	--------	----------

【2025年3月】

3月に入ると急にいろいろな花が咲き始めましたが、雪で暫くは花が減ってしまいました。カタバミは花が枯れていました。中旬になりまた増えてきました。上旬から見かけたのはホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ミチタネツケバナ、オオイヌノフグリ、フラサバソウ、カラスノエンドウ、フキノトウ、ボロギク、カタバミ類、ちょっと遅れて中旬頃から見かけるようになったのは、スズメノエンドウ、ナガミヒナゲシ、ナズナ、アメリカフウロ、タンポポ、ツメクサ、ハルジオン、ムラサキサギゴケ、ツタバウンラン、オランダミミナグサなどです。



3/25 南水元
ツメクサ



3/13 南水元
ミドリハコベ



3/26 水元公園
コゴメイヌノフグリ



3/20 水元公園
スズメノエンドウ

見慣れた花ばかりだな、と思っていたら、こんな花を見つけました。ムシクサとマメカミツレです。マメカミツレはオーストラリア原産だそうです。ムシクサの花は3ミリ、マメカミツレは5~8ミリと小さい花です。



3/25 東金町 (道端)
ムシクサ



3/25 東金町 (道端)
マメカミツレ



3/25 東金町 (道端)
マメカミツレ



3/25 東金町 (道端)
マメカミツレ

水元公園グリーンプラサでは、春の野草が咲いていました。カタクリは新潟から持ってきたものだそうです。



3/26 水元公園
シラユキゲシ



3/26 水元公園
ショウジョウバカマ



3/26 水元公園
カタクリ



3/26 水元公園
ヒロハノアマナ

ニリンソウはグリーンプラザの近く、ヒメリュウキンカはグリーンプラザの庭、フキは水辺のさとです。フキの雄花は雄しべ、雌しべともあって両性花なのですが、稔らないので、雄花というのだそうです。また、雌雄別株だそうです。雄花、雌花はどれかとあれこれ探したのですが、細かくてよくわからず、写真に撮って調べてみたら、どれも雄花ばかりでした。また、観察に行ったら、雌花を探してみようと思います。



3/26 水元公園
ニリンソウ



3/26 水元公園
ヒメリュウキンカ



3/26 水元公園
フキ (フキノトウ)



3/26 水元公園
フキ (雄花のアップ)

<鳥>

顔が鮮やかな赤い色の鳥を見かけました。バンでした。オオバンは顔が白く、目立ってわかりやすいのですが、バンは遠目には色がわかりにくく、今まで赤い色に気づきませんでした。間近で見ると、顔が赤く、くちばしが黄色でとても特徴的な鳥でした。(写真では、色が薄くなってしまいました。) なお、冬場や幼鳥は赤い色は薄いそうです。これを機会に鳥も覚えていきたいと思っています。

○バンとオオバンの違い

	体の色	体長	額板	嘴	足	その他
バン	茶、脇に白斑	35 センチ	赤	赤、先は黄	足先まで黄緑、ひれはない	下尾筒 (お尻の下の方) が白、単独または少数
オオバン	黒	39 センチ	白	薄いピンク	黄緑色、足先は灰色、弁足 (ひれ) あり	群れる

額板：嘴の根元から額にかけての部分、バンよりオオバンの方が少し大きい

弁足：足の指一本一本から木の葉のように広がったひれ



3/18 水元公園
バン



3/20 水元公園
オオバン



3/20 水元公園
アオサギ



3/13 水元公園
ヒドリガモ

以上

大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5-28
-------	--------	----------

【2025年4月】

4月になると、花が少し入れ替わったようです。沢山咲いていたフラサバソウはあまり見かけなくなり、タチイヌノフグリがあちこちに見られるようになりました。また、ホトケノザよりもヒメオドリコソウを多く見かけるようになりました。白い花のヒメオドリコソウは江戸川の土手のあたりで見ました。スマレの花はノジスマレのようです。3月に見かけたムラサキのスマレはもう実をつけていました。



4/7 南水元
タチイヌノフグリ



4/4 水元公園
ヒメオドリコソウ



4/10 南水元
スマレ



4/22 南水元
スマレ (実)

先月花を見かけたムシクサは実を付けていましたが、下旬には除草されていました。ノミノツヅリは最近よく見かけます。オオアマナは花がアマナに似ていますが、別種（外来種）で有毒だそうです。セイヨウジュウニヒトエも外来種です。セイヨウジュウニヒトエもオオアマナも花壇から逃げ出して野生化しているようです。



4/14 東金町
ムシクサ (実)



4/14 南水元
ノミノツヅリ



4/28 南水元
オオアマナ



4/20 水元公園
セイヨウジュウニヒトエ

ハナヤエムグラは初めて見ました。かわいいですが、外来種です。在来のヤエムグラの花は白くて目立ちません。



4/24 南水元
ハナヤエムグラ



4/25 南水元
ヤエムグラ



4/25 南水元
ヤエムグラ (実)



4/25 南水元
マツバウンラン

秋にぶらぶらとした実をつけるアカシデ、イヌシデ、クマシデの雄花の様子を観察しました。クマシデは少し太め、イヌシデ、アカシデは同じような形ですが、色が赤いのがアカシデ、黄緑色っぽいのがイヌシデです。アカシデの赤は雄蕊の色から名前がついたそうです。二、三週間もすると、青い実がついていました。

新宿未来公園では、オオカワヂシャを見ました。青い、とてもかわいい花なのですが、調べたら、特定外来生物とのことで、びっくりしました。

水元公園では、キンランを見ました。希少な花なので、大切にしたいですね。



4/3 原田小学校
クマシデ



4/2 水元公園
アカシデ



4/8 新宿未来公園
イヌシデ



4/8 雄花 (クマシデ、
アカシデ、イヌシデ)



4/20 原田小学校
クマシデ



4/27 新宿未来公園
アカシデ



4/20 新宿未来公園
オオカワヂシャ



4/20 水元公園
キンラン

グリーンプラザでも春の花が一齐に咲いていました。他にもイカリソウやミツバアケビ、アキカラマツ、クサノオウ、サクラソウなどが咲いていました。



4/2 水元公園
ハラシ



4/2 水元公園
カンアオイ



4/2 水元公園
シュンラン



4/2 水元公園
ムサシアブミ

観察を続けていると今まで見たことの無い花を見つけることがあり、楽しくなります。ただ、大抵は外来種で、残念な気もします。

以上

大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5-28
-------	--------	----------

【2025年5月】

ナヨクサフジは、江戸川ライン野球場のあたりに一斉に咲いていました。ヤマボウシは咲き始めです。あの白い花も始めはこんな緑なんですね。特定外来生物のオオキンケイギクは相変わらず昨年と同じところで沢山咲いていました。外来種のウサギアオイは今年、初めて見ました。民家と民家の間の隙間に咲いていました。ハーブなので、栽培していたものかもしれません。しばらくしたら、刈り取られていました。



5/5 水元公園
ナヨクサフジ



5/7 水元公園
ヤマボウシ



5/12 東金町
オオキンケイギク



5/15 東水元
ウサギアオイ

道端では、アメリカフウロが実をつけていました。尖った実がはぜると神輿のようになりますが、なかなか見られません。今回、初めて見ました。ギンヤンマのヤゴの抜け殻も初めて見ました。



5/20 東金町
アメリカフウロ (実)



5/20 東金町
アメリカフウロ (実)



5/12 水元公園
カルガモ



5/18 水元公園 ギンヤンマ
(ヤゴの抜け殻)

グリーンプラザ周辺では、コンニャクの花を見かけました。カラタネオガタマはバナナの臭いがしました。ナツロウバイ、クロロウバイも花盛りでした。



5/7 水元公園
コンニャク



5/7 水元公園
カラタネオガタマ



5/7 水元公園
ナツロウバイ



5/7 水元公園
クロロウバイ

以上

氏名 K・N		町名 東金町			調査区 5		
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫)鳥類は大橋周囲～小合溜 (種類・植物・蝶々・野鳥(令和 7年3月・4月・5月→月1回))							
種類	3月	4月	5月	種類	3月	4月	5月
セイヨウタンポポ	0	640	15	サギ類	3	4	5
シロツメ	0	0	多数	カモ類	多数	100	少数
チョウ類	0	10	多数	ユリカモメ	30	10	不明

野鳥情報

① 渡り鳥は5月初旬には見られなくなった。サギ類は変化なし。

写真の野鳥は、池の中で水中にもぐって餌を捕っていると思っていたが、陸上でも何かついばんでいた。

・ 5月下旬つばめ
A地点で巣づくり開始



植物情報 (タンポポ)

1. カントウタンポポの花数は例年になく発見場所も花数も多数だった。3月～4月初旬

3月10日 ①某駐車場10個 ②某公園125個 ③公園近くの神社周囲50個

4月7日 ④葛飾松戸橋道路周囲30個以上 ⑤某テニスコート周囲20個

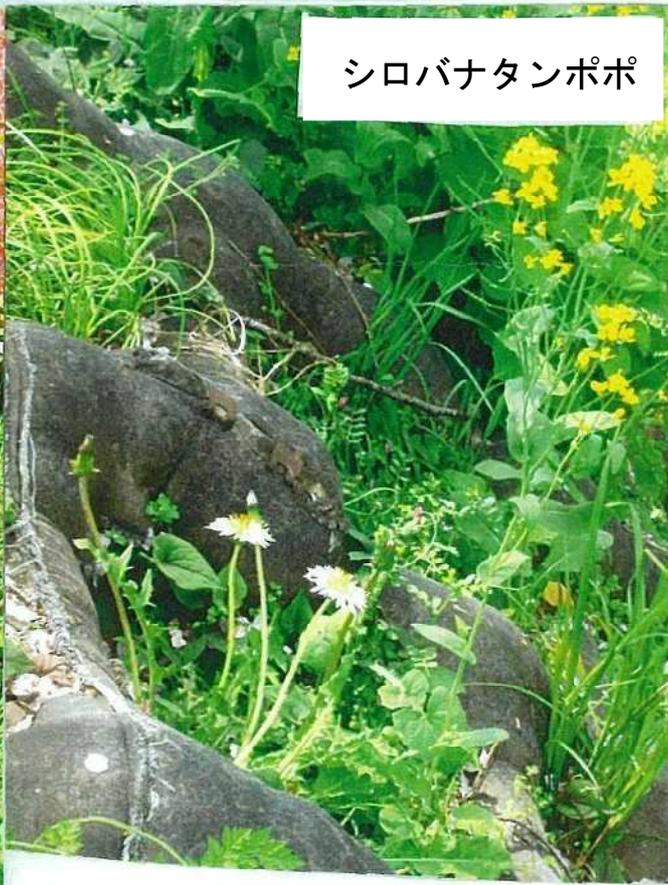
観察地の他の変化は

2. セイヨウタンポポの花数は4月だけが例年どおりで、3月と5月の初旬は少ない。

3. シロバナタンポポが例年1箇所だったが、3箇所で見つけた。

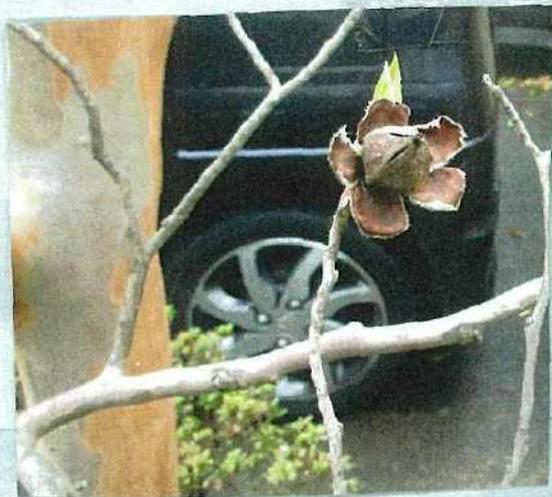


道路わきの
カントウタンポポ



シロバナタンポポ

4. 木の名前は？ 4月初旬近所で珍しい色の花を発見、5月下旬は変化していた



5. 野菜高騰にあぜん！

3月～4月はあらゆる野菜が値上がりでびっくりした。
水元5丁目で某花屋に入ると野菜の苗が多数あった。それを植えたところ
5月に実がようやくなった。野菜の値段は安くなったが、収穫は楽しみ。



昆虫情報

公園観察地で何気なく写真を撮った。たぶんアブ類だと思うが不思議な形？
拡大してみたら、二匹が仲良くしている様子が珍しい。



自然観察レポート調査区5 R7/3月～5月 佐々木定治

フジバカマは準絶滅危惧種です！



5月9日 水元公園 水元さくら堤の自然植生保護地



5月現在 調査中の表示があります

自然の学びはたゆまぬ研修から始まります！

5月24日 南水元清水農園での研修会



5月25日 区役所での研修会



水元さくら堤にある絶滅危惧種の藤袴はキク科の多年草。名に「袴」が付くのは、筒状の花弁が袴に似ているということからとも言われています。万葉集由来の「秋の七草」の一つであり、『万葉集』（秋野の花を詠む歌）*山上憶良 「萩の花尾花葛花なでしこの花をみなへしまた藤袴朝顔の花」とうたわれています。ここは都内随一の自然植生自生地でもあります。

自然の学びは幼児教育の体験から！



5月12日 ジャガイモ植え 水元3丁目区民農園



5月26日 キャベツとモンシロチョウ



キャベツからタンポポに飛んだモンシロチョウ



モンシロチョウの育ったあかし



ヤマイモが育っています！

畑には、栽培しているものだけではなく、雑草を含め多くの植物も季節の推移に応じて芽を出します。どこからか飛んできた種から発芽した「シソ」・真っ赤な「ヘビイチゴ」「タンポポ」……。そして上記の「ヤマイモ」も今、蔓を逞しく伸ばしています。そのうち「ムカゴ」もできて「ムカゴご飯」にと楽しみにしています。

私は非常勤で水元にある認定子ども園に勤務しています。この園の保育目標のひとつに「自然と共にある保育」が柱になっています。具体的な保育として、園児が土の匂いや感触、植物の成長の過程、さらに「食と命」のつながりを五感を通して体験する保育を目指していることです。

まさにこのことは、自然に畏敬の念を持って人として自然と共に生きていこうとする、環境教育を実践する基本内容にも通じることだと思います。

そのために、私は研修を重ね自らの資質向上に努めようと自分を励ましています。

ジャガイモ栽培を通して集まる虫たち・キャベツ栽培を通して学ぶモンシロチョウの一生・土を耕すことによって出会う虫や微生物の働き……。様々な学びがここにあるのです。環境教育を人の生き方と繋げて幼児教育をすることは、人としての「生きる力」を育てる意義が大だと考えます。

● 観察日 : 3/5

● 調査区 : 5-28 (南水元)

この冬はまったくツグミを見かけなかったが、3/5 によく住宅地で最初の 1 羽を見つけ、その後はよく見かけるようになった。水元かわせみの里の冊子によると「地球温暖化の影響で、渡りの中間地点に食べ物が増え滞在時間が伸びるため」と言われているらしい。

まだかまだかと待っていたので、見かけるとうれしくて写真を撮ってしまう。南水元では 4 月上旬まで見られた。



● 観察日 : 3/23

● 調査区 : 5-26 (水元公園)

【鳥類】

ヒドリガモ、ドバト、オオバン、ユリカモメ、カワウ、シジュウカラ、カンムリカイツブリ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ムクドリ、ハクセキレイ、モズ、キジバト、アオサギ、ツグミ、小型の猛禽（同定できず）、シロハラ、ダイサギ、カワラヒワ、コゲラ、エナガ、アオジ、カワセミ、アカハラ

【昆虫・クモ類】

フタホシテントウ、キタテハ、ネコハエトリ、シラヒゲハエトリ など

【植物】

コゴメイヌフグリ など



フタホシテントウ。3mm 位で、とても小さい。



ネコハエトリ。押しグモです。



コゴメイヌフグリ。

オオイヌフグリの白バージョンといった感じでかわいい

●観察日：5/5

●調査区：5-26（水元公園）

【鳥類】

オオバン、シジュウカラ、ワカケホンセイインコ、キジバト、ツバメ、ハシボソガラス、アオサギ、カワウ

【昆虫】

ナミアゲハ、ナミテントウ（羽化不全の蛹）、アオスジアゲハ、オオシロフクモバチ、ハバチ幼虫、キイロクビナガハムシ、アカサシガメ、アカスジキンカメムシ、キイロテントウ

▼オオシロフクモバチが、掘った穴に捕えたクモを引き摺り込んで埋める一部始終を観察。



①事前に掘った穴に、自分と同じくらいの大きさのクモを持ってきた



②きちんと隠れるくらい奥に入れて土をかぶせる



③途中、高速で腹部を揺らすような仕草で土を固めていく



④ここまできれいに塞ぎました

キイロクビナガハムシ



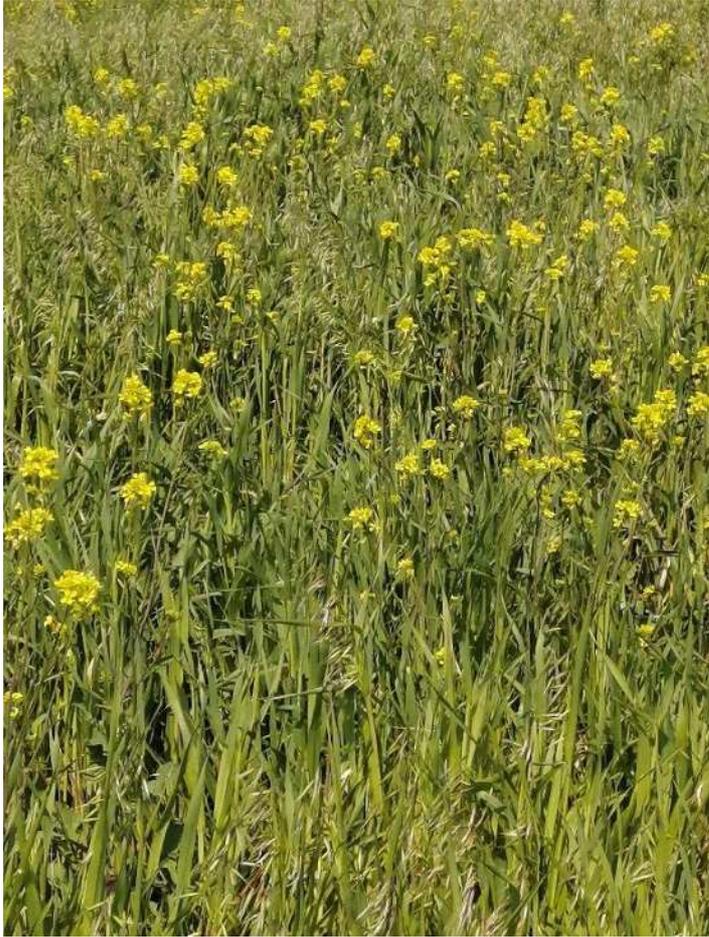
アカスジキンカメムシ（幼虫）とトキワツユクサ。

トキワツユクサは重点対策外来種指定されているだけあり、繁殖力が強い。ここでも広い範囲で群生していた。



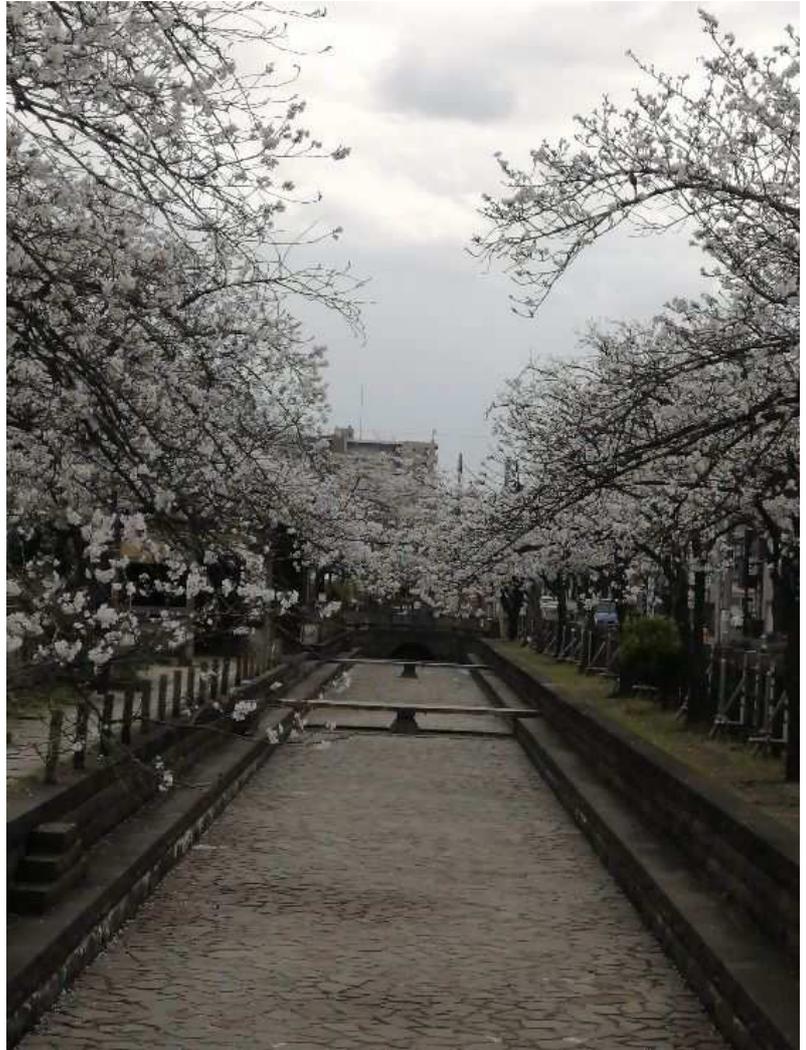
アカサシガメとトキワツユクサ

季節の写真集 (3~5月)



菜の花 Ryu 3/23
堀切水辺公園近くの土手

桜通り Ryu
4/7 曳舟川親水公園



カワセミ R 3/23 小菅東スポーツ公園



カワセミ R 3/23 小菅東スポーツ公園



「日向ぼっこ上手でしょ」 キマダラカメムシ
瑛ちゃん 4/16 柴又金町公園



「サッカー見に来たよ」 ニホンカナヘビ
瑛ちゃん 5/7 西水元



ベニシジミ

下山田 隆 3/27 江戸川



「ヒドリガモ♀♀」

下山田 隆 4/5 水産試験場

「アジアイトトンボ♂」

下山田 隆 5/3 水産試験場





「モンシロチョウと菜の花」 鈴木 園未 3/20 西亀有せせらぎ公園



ヤモリ 鈴木 園未
4/15 西亀有



「シロツメクサとナナホシテントウ」
鈴木 園未 5/11 西亀有せせらぎ公園

「庭の片隅では、コバンソウの穂が鈴なり」

ゆきひめ 5/15 立石



「カタバミはしっかりタネを付けていました」

ゆきひめ 5/15 立石



「ジュズダマは元気がありません」

ゆきひめ 5/15 立石



「ミミズの糞がいたるところに」
有泉 桂子 3/24 堀切7丁目青葉公園



「5歳の孫がモンシロチョウを観察」
有泉 桂子 5/20 西水元水辺の公園



スズメバチの巣
(公園管理所が安全の為に撤去)
有泉 桂子 5/14
堀切7丁目青葉公園

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-332

調査回数 調査日 地点		334			備 考
		2025/4/6			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア ユ	4 60-75			
2	オ イ カ ワ	5 97-158			
3	カ ダ ヤ シ		2 20-27		特定外来生物
4	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 39			
5	タイリクバラタナゴ		3 19-27		
6	ヌ マ チ チ ブ	4 32-55			
7	ハ ス	1 107			
8	ボ ラ	11 130-420		16 28-35	
9	メ ダ カ		2 28-30	1 25	
計		6種類26個体	3種類7個体	2種類17個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて9種類50個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇りのち雨、気温19.6℃、水温 本流14.0℃、新八水路15.2℃、新八ワンド15.8℃（12時頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.64m (12:00)1.17m (14:00)0.94m

【参加者コメント】

- ・ コアユといたいサイズのアユが、21節の網だと、キラキラ抜けていくのが見えました。採れたものは、なるべくその場で測定して逃してきました。
- ・ 柴又駅のツバメはまだ戻ってきていなかった様子。無事に今年も来ますように。(KI)
- ・ 10日ほど前に水路でコイとフナのノッコミを確認した。次回調査ではコイとフナの幼魚をぜひ採りたいと思う。今回は昼から雨が降り出したので調査は午前中で終了したのが少し悔やまれる。(SI)
- ・ 桜も満開で、鮎なども取れ始め、暖かくなり春を感じられる1日でした。(SS)

【今後の調査日】

4月26日(土) 5月24日(土) 6月8日(日) 7月13日(日) 8月9日(土) 9月7日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdoweb.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-333

調査回数 調査日 地点		335			備 考
		2025/4/26			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	11 31-64			
2	ア ユ	13 50-85			
3	オ イ カ ワ	1 85			
4	カ ダ ヤ シ		2 30-32		特定外来生物
5	ギ ン ブ ナ		4 64-114		
6	シ モ フ リ シ モ ハ ゼ	3 38-46			
7	ス ズ キ	1 46			
8	ス ミ ウ キ ゴ リ	2 34-43			
9	タイリクバラタナゴ		9 20-35		
10	デ メ モ ロ コ	1 65			
11	ド ジ ョ ウ		3 93-138		
12	ヌ マ チ チ ブ	60 25-75			
13	ボ ラ	94 31-360			
14	メ ダ カ		13 26-35		
計		9種類186個体	5種類31個体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、あわせて14種類217個体の魚類が採集されました。（新八ワンドは水位低下のため採取活動不可。）
- ・ 曇り、気温17.1℃、水温 本流17.8℃、新八水路16.2℃（14時30分頃測定）
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)0.59m (12:00)0.35m (14:00)0.92m

【参加者コメント】

- ・ 特に午前中は水位が低かったため、小型の魚は岸寄りに移動して凌いでいるようだった。小型のアユは26節の投網でも網目を抜けそうになる個体があった。マハゼの未成魚が見られるようになるのは来月だろう。アシシロハゼは産卵した後のような腹がへこんだ個体が複数見られた。(YK)
- ・ 冬の間、ヌマチチブすら採れず、病気の多いものもいたせいもあり、心配していたところ、今日は大小ともたくさん採れて、病気の個体もいなくて一安心。冬は深場に行ってしまったら、減っている訳ではなさそうです。荷物を倉庫にしまっている時に大粒の雨に降られましたが、その後、見事な虹が出ました。(KI)
- ・ 小さなボラの群れに網を打つと網目をくぐり抜けるのも多いが、相当数は残る。手網ではヌマチチブが一度に複数匹採れることが何度もあった。冬場には全然採れなかったのが嘘のようだ。(SI)

【今後の調査日】 5月24日(土) 6月8日(日) 7月13日(日) 8月9日(土) 9月7日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdoweb.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-334

調査回数 調査日 地点		336			備 考
		2025/5/24			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	7 36-53			
2	ア ユ	2 65-87			
3	ウ ナ ギ	3 59-347			
4	オ イ カ ワ	12 65-91			
5	カ ダ ヤ シ		1 39		特定外来生物
6	ギ ン ブ ナ	3 112-119	1 17	4 27-32	
7	コ イ	2 30-420		6 25-30	
8	コ ク チ バ ス	6 165-240			特定外来生物
9	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 73			
10	シ モ フ リ シ マ ハ ゼ	2 47-50			
11	ス ズ キ	7 65-91			
12	ス ミ ウ キ ゴ リ	4 28-43	1 38		
13	ニ ゴ イ	2 126-153			
14	ヌ マ チ チ ブ	42 35-81		1 58	
15	ブ ル ー ギ ル	1 160			特定外来生物
16	ボ ラ	71 34-420			
17	マ ハ ゼ	68 26-50			
18	マ ル タ	5 16-33			
計		17種類238個体	3種類3個体	3種類11個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて18種類252体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り、気温19.9℃、水温 本流20.3℃、新八水路17.7℃、新八ワンド23.9℃（15時頃測定）
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)0.46m (12:00)0.71m (14:00)1.24m

【参加者コメント】

- ・ 数か月ぶりに立派なゴクラクハゼの成魚が採れた。鮮やかな鱗の煌めきが大型の魚食魚に見付きやすいのではないのだろうか？
今月からは大量に捕獲されるようになったマハゼだが、マハゼの一部の集団は、海よりも水温が高くて餌生物が多い淡水や汽水域に溯上して秋まで生活することで、海域だけでは足りない新たな摂餌や成長の場を得ている。マハゼという魚種全体の個体数を押し上げる結果になっていることは間違いなからう。しかし淡水・汽水域に溯上する個体群が遺伝的に違いがあるかどうかは不明だ。(YK)
- ・ 暑からず寒からず、中洲が見えるほど水位が下がっていて、調査向きの日でした。
ハゼ類の稚魚が水たまりに取り残され、逃げ回るのが見えるのですが、その割に網に入らず、翻弄されます。(KI)
- ・ 午後、水位が上がってきたので期待して投網を打ったが、思ったほど採れず。(SI)

【今後の調査日】 6月8日(日) 7月13日(日) 8月9日(土) 9月7日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdoweb.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚類出現状況

No.	標準和名・地点	調査回数		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		335	336
		48回	58回	60回	12回	12回	12回																		
1	イセゴイ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ウナギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	ワカサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	アユ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	サケ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	タモロコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	スズキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	アサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	ヒゲイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ニギハヤヒ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	カマツカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	ツツキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	モツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	マルタ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	ウグイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	カワムツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	オイカワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	ハス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	ワタカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	ハクレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	キンブナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	ギンブナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	ゲンゴロブナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	フナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	キンヨ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	コイトフナの雑種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	ヤリタナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	イチモンジタナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	アカヒレタナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	タイリクバラタナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	ドジョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	カラダジョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	アメリカナズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	ナマズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	クルマサヨリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	メダカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	カダヤシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	ホシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	メナダ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	カムルチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	クロダ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	スズキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	オオクチバス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	コクチバス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	ブルギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	シマイサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	ヒラキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	マナチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	チチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	シマハセ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	クダハセ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	クロダハセ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	ヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	ウキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	スミウキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	ウキ(型不明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	アシロハ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	ヒラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	チド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	コナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●...初採取
※:和名がヨシノボリ(鱈色型)からクロダハセに変わりました。

環境課からのお知らせ

★自然環境レポーターを募集します★

本区では、多くの方に自然や生きものへの興味を持ってもらうことを大切だと考えています。

自然環境レポーターの制度はそのような趣旨に基づいており、今まで自然観察等をされたことがない方でも気軽に楽しんでいただけるものになっています。

今後もこの制度をきっかけに、身近な自然や生きものに興味を持っていただける方をますます増やしていきたいと考えております。

今年度の自然環境レポーターの新規加入者募集も始まります。この機会にぜひ、皆様のお友達や知人の方などを自然環境レポーター制度に誘っていただき、一緒に研修会に参加してみませんか？そして、環境レポートを友人・知人と相談しながら作成すると、レポーター活動もより楽しめるのではないのでしょうか。

もし、ご紹介していただけるお友達や知人の方などいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。よろしく願いいたします。

【申込期限：令和7年7月31日（木）】

★自然環境レポーターの更新時期です★

自然環境レポーターの任期は、9月1日から1年間です。現在のレポーターの皆様におかれましては、引き続き活動していただければ幸いです。意思確認の通知を郵送いたしますので、必ず二次元コード、または、電話でご連絡くださいませうようお願いいたします。

ご新規様で興味のある方は、7月5日号の広報かつしかをご覧ください。

★自然環境レポーター委嘱式・研修会★

今年度は、令和7年9月6日（土）に立石地区センターで実施予定です。

詳細は、自然環境レポーターを継続または新規でお申込みいただいた方に別途ご案内します。

環境課からのお知らせ

★鳴く虫の女王「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会★

「鳴く虫の女王「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会」の実施を、以下のとおり区内のカンタンの里で予定しています。詳しくは、9月頃に掲載予定の広報かつしかをご覧ください。

【日時】令和7年9月19日（金）

【場所】青戸平和公園（青戸4-23-1）

【日時】令和7年9月26日（金）

【場所】西亀有せせらぎ公園（西亀有1-10-1先）



★新ハ水路で魚類調査を行います★

【日時】7月13日（日） 8月9日（土） 9月7日（日）
いずれも10時～16時ごろ

【場所】江戸川河川敷 ※事前連絡をお願いします。

【持ち物】着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス
詳しくは、HP (<https://shigenori1.jimdoweb.com/>) をご覧ください。



★綾瀬川で水辺環境調査を行います★

採取した生きものを展示して、その場で調査結果の概要を説明します。
直接会場へお越しください。 駐車場はありません。

【日時】令和7年7月11日（金）〈予備日7月25日（金）〉
14時00分～14時30分（調査報告）

【場所】綾瀬川（東四つ木避難橋付近）

環境課からのお知らせ

★自然環境調査報告書（55種以外）★

自然環境レポーターの活動には、区内で見られる55種以外の動植物についての調査報告も含まれています。ご報告いただいた中からいくつか紹介します。
〈見方〉◆動植物種名・調査月・調査場所（P2参照）・気が付いたことなど

- ◆ヘビイチゴ・5月・調査区5・実がついていた。
- ◆オオアレチノギク・4～5月・調査区3・2m近くのもあった。
- ◆ルリタテハ・5月・調査区4・モッコウバラにとまっていた。
- ◆ハクセキレイ・3～4月・調査区4

本号にご協力いただいた皆さま（敬称略）

有泉 桂子	石戸 雅彦	石鍋 壽一
瑛ちゃん	江戸川の小鮒	大谷 悦子
神山 隆敬	佐々木 定治	下山田 隆
鈴木 園未	高橋 雅子	田村 ひろ子
となり	ひまわり	むしあお
弥生さくら草	ゆきひめ	K・N
R	Ryu	T・K

自主生物調査団（編集：一澤成典さん）

ありがとうございました！

「水辺のふるさとかつしか」第333号
（葛飾区 自然環境レポーター通信第285号）

令和7年7月吉日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

代表電話（3695）1111

直通電話（5654）8237

FAX（5698）1538



▲区のホームページにも
掲載しています。

（URL）

<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000062/1030304/1037174.html>



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、
お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。